

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30 ~ 13:30
例会場 刈谷市新栄町 3 の 26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566) 22-2111
FAX (0566) 25-2111
メール kariyac@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 加藤 哲也
幹事 久米 博明
会報委員長 鬼頭 一浩

2016 ~ 2017年度 国際ロータリー ジョン F. ジャーム 会長テーマ

Rotary serving humanity 人類に奉仕するロータリー

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2955回例会プログラム

[当年度=23回目; 当月=4週目]

2017年(平成29年) 1月23日(月)

1. 例会……………〈司会:プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱……日も風も星も
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食事

- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
8. お祝い
(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)

9. 幹事報告
10. 出席報告
11. 委員会報告
12. ニコニコボックス報告
13. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(1/30) ……

クラブフォーラム(研修情報委員会)
卓話「MY ROTARYについて」
講師 地区公共イメージ向上委員会
委員長 籠橋 美久 様
(紹介者 小川 耕示 会員)

- ※第2四半期皆出席の発表(出席委員会)
(2/6) ……

新入会員アワー 菊地 康英 会員
" 小河 俊文 会員

- 13:00 14. 本日のプログラム
卓話「若い世代が将来に明るい希望を抱くことができるまち」
講師 刈谷市長 竹中 良則 様
(紹介者 杉浦 文雄 会員)

15. 謝辞
16. 点鐘……〈会長〉
17. 閉会宣言

13:30 18. 散会

ゲ ス ト

刈谷市企画財政部広報広聴課
秘書係長 酒井 隆 様

出 席

会員総数 94名 出席免除 24名
出席義務者+免除者の内例会出席者 86名
欠席 13名 出席率 84.88%
前々回(12/22)の修正出席率 100%

会 長 報 告

- 1) 1月12日刈谷警察署からの感謝状贈呈式に行っ
て参りました。
2) 1月21日土曜日、豊田カントリー倶楽部にて、
1月のゴルフ例会が開催されました。グロス80
ネット73にて小野雄司会員が優勝されました。

幹 事 報 告

- 1) 刈谷ロータリークラブの新入会員名簿シールを
メールボックスに配布させて頂きました。ご確認
をお願い致します。

会長あいさつ

加藤 哲也



昨年12月8日与党の平成29年度税制改正大綱が決定し、そして12月22日政府の税制改正大綱が閣議決定された。この1月召集の通常国会でこの法案が可決される予定である。

マスコミは配偶者控除の見直しや発泡酒、ビールの増減税を大きく取り上げている。税は増があれば減があり取り合いのようなどころがあるが、自然増収が期待できない現況で財政改革は大変困難となっている。

そこで財務省のホームページを見てみると「財務大臣になって財政改革を進めよう」というゲームコーナーがある。財務大臣として財政改革を行い、2020年度までに基礎的財政収支の黒字化を目指すよう指示される。さらに進むと、現在の財政収支は5.7兆円の赤字であることと、各歳出項目が棒グラフで表示される。

歳出項目を見てみると、社会保障が約33兆円で突出しており、続いて地方交付税が15兆円程で続き、“関心の高い”中小企業対策費はグラフに表示されないほど少額であることがわかる。他の項目は公共事業、防衛、教育、科学技術振興等が並ぶ。残念ながら国会議員、地方議員等の削減という項目はない。

パナマ文書で話題のタックス・ヘイブン問題については今後国際的な課税ルールが適用されることとなるのであろうが、どこまで適正な課税が行われるかは未知数である。一説によれば、5～8兆円ほどの税収が期待できるそうだ。この報道が事実であれば、現状のまま黒字を達成できることになる。

お祝い

1月の会員の誕生日…神谷光義、原田光二、橘典子、岡本巧、浅岡幸雄、兵藤文男、小川耕示、高橋満典会員。

配偶者の誕生日…坂貞子（茂）、杉山恵美子（欣輝）、原田トモ子（光二）、杉浦眞佐子（世志朗）、小野みどり（雄司）、鈴木ゆかり（文三郎）、小澤敏子（陽一）、堀田みゆき（昌義）、石川将典（友美）、新海好美（伸二）、中川久子（耕児）、菅野美智子（貴之）様。

結婚記念日…池田憲司、加藤哲也、杉浦芳一、角谷広高、吉岡秀記会員。

1月度入会記念日…杉浦世志朗、鈴木文三郎、下谷敏朗、加藤大志朗会員。

古希のお祝い



橘 典子 会員 原田 光二 会員

卓話

「若い世代が将来に明るい希望を抱くことができるまち」
刈谷市長 竹中 良則 様



本日は、お招きを頂きましてありがとうございます。

昨年7月1日に、本市の人口は15万人に達しました。昭和25年に愛知県内11番目の市としてスタートし、その当時の人口は3万868人でありました。昭和52年には10万人となり、昨年7月、15万人という大きな節目を迎えることができました。9月には「7月1日」にお生まれの4名のお子様と保護者の方にご出席いただき、記念のセレモニーを開催いたしました。

日本は、少子化・超高齢社会に加え、人口減少社会という他の国ではどこも経験した事のない困難に直面しています。そのような中、「まち・ひと・しごと創生法」の施行を受け、昨年には全国の自治体において、「地方版人口ビジョン」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定されました。

最初に、本市の人口ビジョンについてご説明いたします。平成25年3月に発表された「日本の地域別将来推計人口」を基に、本市の人口に関する独自の推計を行いますと、2030年の151,000人をピークに減少の一途をたどるという結果となります。そこで、「更なる出生率の向上」と「若年世代の転出抑制を図る」という大きな2つの視点からの取組を推進していくことにより、人口の将来展望としまして、2060年、45年後に人口16万人を維持することを掲げております。

続きまして、昨年3月策定の「刈谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」です。2060年に人口16万人を維持していくため、基本方針として『若い世代が生涯の居住

地として選択し、将来に明るい希望を抱くことができるまち」を目指す』といたしました。出産・子育てしやすい環境の整備・向上、若者の定住を目指し、基本目標に掲げる取組を実現することで、本市の特徴を活かした自立的で持続的な社会を創生できるものと考えております。

ここからは、今後の主な取組みにつきまして、「都市基盤・交通」に関する分野からご紹介いたします。

まず、刈谷駅北地区整備事業です。地上20階建て、1階2階は観光案内所などの公共機能や商業施設、3階から5階は事務所機能、6階以上は住居としての機能が集積した施設を民間事業者が主体となって整備し、刈谷駅からペDESTリアンデッキを通過して直接アクセスできる環境もあわせて整備するとともに、交流スペースやイベントなどを開催することができる広場を確保してまいります。

平成29年度は主に設計を行い、30年度から工事に入っております。それに伴い、現在の観光案内所の機能は産業振興センター1階へ一時的に移転します。供用開始は、平成33年度を予定しております。

次に、交通を担う道路の関係としまして、「(仮称)刈谷スマートインターチェンジ」と「(仮称)西三河知多アクセス道路」、公共交通の関係としまして、「刈谷駅のホーム拡幅」についてご説明させていただきます。

まず、刈谷スマートインターチェンジ整備事業です。本市の北部地域は、刈谷市から豊田市にかけて多くの工場が集まっており、その中心に刈谷ハイウェイオアシスが位置しています。ここに、新たにスマートICを整備することで、自動車を一般道の国道、県道から高速道路への利用に転換できる環境を整備し、道路混雑の原因となる交通量の低減を図り、交通の円滑性を高めることで、市民の皆様が目的地までスムーズに移動ができるよう努めてまいります。また、モノづくり産業の物流がスムーズになるよう交通面から産業を支援させていただきます。

現在までの進捗状況でございますが、平成27年6月に国より刈谷スマートインターチェンジの重要性が認められ、準備段階調査箇所指定されております。これを受け、国、県、関係市、高速道路会社とともに、スマートICの整備案、整備効果等について協議を進めております。今後のスケジュールとしまして、今年の3月には、国、県、関係市、高速道路会社等でスマートICに係る地区協議会を設立し、その後、国の許可を取得し、早期のスマートIC開設に努めてまいります。

続きまして、(仮称)西三河知多アクセス道路です。安城市、刈谷市、東浦町、知多市を結ぶ道路で、自動車関連産業の拠点となっている西三河地域と、原材料やエネルギーの供給拠点のある知多地域を結ぶ新たな産業軸として極めて重要な役割を担う道路となります。さらにその先には輸出の拠点となっている名古屋港や中部国際空港へと続いておまして、物流効率化により生産性の向上が図られ、活発な企業活動に寄与し、また、刈谷市

を始め周辺地域で計画されている工業団地においても交通の利便性が高まることにより、企業の進出が促進され、地域の発展を支える道路となることが期待されています。

刈谷市、安城市、東浦町、知多市、それぞれの市町議会議員、商工会議所会頭、及び関係国会、県議員、また、この道路に期待される多数の企業の皆様にもご参画いただき、今年の2月には西三河知多アクセス道路推進協議会を設立し、設立後は、官民一体となった要望活動を行い、早期整備を目指してまいります。

交通分野の最後に、刈谷駅のホーム拡幅です。刈谷駅は、多くの方に御利用頂いており、平成26年度では年間約3,226万3千人、1日当たり約8万8千人となっております。そのうち、JR刈谷駅の利用者数は1日当たり約6万4千人、また午前7時から午前10時の3時間で、約2万2千人の方々が集中しています。

本市はJR東海と、これまで駅利用者の安全方策について協議を進めてきており、平成27年度と28年度に、ホーム拡幅に関する概略の設計をしております。その内容は、駐輪場側と名鉄線側へホームをそれぞれ拡幅すると共に、駅施設のうち、東京側の階段の拡幅、中央部にあるエスカレーター横の階段の新設、改札口までの中央コンコースの増床、自動改札機の増設であります。また、名鉄線の改札口とJR線の改札口を自由通路で乗換えをする方も多く、刈谷駅南北連絡通路の通路幅の拡幅も併せて行なう計画としております。引き続き、この計画の実現に向け、平成28年度から平成30年度の上半期の約3年をかけて、詳細な検討、設計などを進めてまいります。

最近、ホームから人が転落する事故が多く発生し、ホームドアの設置が駅の安全対策の切り札として、特に急務となっていることが報道されております。これまでのJR東海との協議の中で、このホームドア設置につきましても議題としておりましたところ、昨年12月14日にJR東海柘植社長が記者会見され、金山駅と刈谷駅に、開口部の幅が4メートル強となるホームドアの設置を目指すとの発表を頂いております。本市のJR刈谷駅におけるホーム拡幅と、JR東海のホームドア設置を連携させて、市民の皆様が安全に駅を利用して頂けますよう、引き続き事業を推進してまいります。

次に、「教育」に関する分野での取組みでございます。次世代を担う子どもたちの学ぶ環境をしっかりと整備してまいります。現在、小垣江東小学校の敷地内では、大きな事業が2件進んでおります。

1つ目は、小学校の校舎を増築するかたちで、肢体不自由に特化した特別支援学校を整備します。通常、県が整備するものでございますが、子どもたちが市外の学校に長時間をかけて通学する負担を少しでも早く解決したいと考え、「刈谷市立」として整備することといたしました。現在、通学区域として想定している衣浦定住自立圏域からは約40人が特別支援学校に通っていますが、近年、増加傾向にあることから、これを大幅に上回る70人

が通えるようにいたします。平成30年4月の開校を予定しております。

2つ目は、第一学校給食センターの建設です。現在の第一学校給食センターは、建設から30年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいることから、この場所に新たに移転新築するものでございます。最大10,000食が調理できる機能を備え、主に、本市の中部、南部の小中学校、幼稚園の給食を担当する予定です。施設内には、これまで第二学校給食センターにしかなかったアレルギー代替食を調理する専用スペースの他、隣接する特別支援学校に通う子どもたちのための形態調整食を調理する機能も兼ね備えております。本年9月の稼働開始を予定しております。

続きまして、小中学校空調設備整備事業です。近年、室温が35度以上になり、既設の天井扇風機だけでは暑さを和らげることに限界がある日も見受けられるようになっており、安全確保と教育環境の向上に向け、小中学校のすべての普通教室と一部の特別教室に、空調設備を設置してまいります。本年度は設計作業を進めており、来年度は、まずは中学校に、平成30年度には小学校に設置工事を行う予定でございます。

最後に、「歴史文化」に関する分野での取り組みでございます。

まず、歴史博物館建設事業です。本市の歴史に関わる貴重な資料を未来へ伝えていくとともに、市民の皆様にご公開し、活用していただくための拠点となる施設として歴史博物館を整備するものです。場所は体育館の北側で、亀城公園と一体での整備を行います。建物の延床面積は4,103㎡、地上2階建てとなります。市民の皆様にご足を運んでいただける施設とするため、魅力の向上に努めます。常設展・企画展などの展示を行う「ミュージアム機能」、大行列や万燈祭など刈谷の祭りを後世に伝えていく「祭り伝承機能」、刈谷にゆかりのある古文書などを保存活用する「アーカイブズ機能」、埋蔵文化財の整理や報告書の作成などを通じて保存活用を図る「埋蔵文化財保存活用機能」、これら4つの機能を繋ぐ「共通機能」の5つを複合した多機能型博物館となります。本年1月より、建設工事に入っており、平成30年5月の竣工を予定しております。その後、資料の搬入や展示作業などの準備を経て、平成31年3月頃の開館を予定しております。

続きまして、刈谷城の復元事業である亀城公園再整備事業です。平成27年度に基本設計を行い、外部有識者による検討委員会を設置して、専門的かつ総合的な観点から検討を行いました。

昨年の12月議会でもご報告させていただきましたが、本年度予定をしておりました実施設計の発注を見送る予定です。昨年4月に発生しました熊本地震で、熊本城が甚大な被害を受け、現在、復旧に関する検討が進められています。熊本市では、これから復旧基本計画の策定に入ると聞いています。刈谷城復元についても、熊本城の

検討結果を参考にすることがあることから、復旧基本計画が示されるまでの間、刈谷城の復元に関する実施設計の発注を見合わせたいと考えております。

以上、今後の主な取り組みを紹介させていただきました。

次世代を担う子どもたちに夢と希望を与え、市民の皆様が地域に対して誇りと愛着を持ち、「住んでよかった・これからも住み続けたい」と感じてもらうとともに、市外の方々や企業から「選ばれるまち」を目指して、皆様方のご理解とご協力をいただきながら、しっかりと進めてまいりたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

本日は、ご清聴ありがとうございました。

1月度刈谷 RC ゴルフ例会

平成29年1月21日(土)

於：豊田カントリー倶楽部

成績	氏名	G	H	N
優勝	小野 雄司	80	7	73
2位	坂 茂	94	16	78
3位	兵藤 文男	92	12	80
B B	新海 伸二	99	10	89

